

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0870300357		
法人名	医療法人社団 青洲会		
事業所名	グループホームおらが里		
所在地	茨城県土浦市藤沢3534-1		
自己評価作成日	2020年4月15日	評価結果市町村受理日	2020年7月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action_kouhou_detail_022_kani=true&JigvosvoCd=0870300357-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 認知症ケア研究所
所在地	茨城県水戸市酒門町4637-2
訪問調査日	2020年6月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>家庭的な雰囲気、心が和むような居心地の良い環境作りに取り組んでいます。季節感を採り入れた壁飾り等を個々の力を活かして制作したり、近隣の催し物や行事に参加し地域の方と交流を持つことで、生活に潤いがあり、良い刺激となっています。いつもの同じ環境の中で、和気あいあいと笑いの絶えない生活を送っています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所の理念『今』に寄り添うということを管理者・職員ともに共有し、利用者一人一人の思いを尊重したケアに努めている。獅子舞・太鼓・祇園祭り・夏祭り・子供会・こまち祭りなど、地域交流を積極的に行い、地域住民との触れ合いを楽しんでいる。行政から委託されたオレンジカフェ『ふれあい茶屋』を開催し、ボランティアを含め30名ほどの参加があり、認知症や介護の相談を受け、アドバイスや関係機関に繋げている。利用者の年齢が高くなり、出来ないこともあるが、出来ることを中心に生活し、やりがいと意欲向上に努めている。新型コロナウイルス感染予防の為、家族面会・地域交流・外出支援が自粛となっているが、広報誌発行をはじめ、様々な試みを行い、家族の不安軽減と利用者のレベル低下防止に努めている。 *新型コロナウイルス感染予防の観点から、訪問調査は通常より時間を短縮し、簡潔に実施。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念をホーム内に掲示し、常に意識できるようにしている。ケアや対応に行き詰った時は理念の実現により近づけるようにと考え実践している。	理念『今に寄り添い、そして明るい明日を共に作ります』をホーム内に掲示。名札の裏にも明示し、常に意識出来るようになっている。ケアを提供する中で、職員が疑問を持った時には、管理者と一緒に理念を振り返る。職員からは、利用者の表情を見落とさないように、その時々の利用者の思いの吸い上げに努めているという話があった。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接するショッピングセンターを利用したり、近隣の催し物や行事に参加している。歌、踊り等のボランティアの方が訪問してくれている。	向かい側にあるショッピングセンターに買い物に出かけ、店員とは顔なじみになっている。地域のイベント(獅子舞・太鼓・祇園祭り・子供祭り・夏祭り・こまち祭り)に参加している。カラオケ・踊り・ちぎり絵・ギター等のボランティア訪問があり、利用者参加型で楽しんでいる。例年、敷地内のケアセンターと合同で夏祭りを盛大に開催しているが、今年は新型コロナウイルス感染予防の観点から開催中止とした。ふれあい茶屋(オレンジカフェ)を開催し認知症・事業所に対する理解を得ている。系列のデイサービス利用者との交流も大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方や介護されている家族、地域の方を対象に毎月認知症カフェを開催している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回会議を開催している。サービス状況を報告し、意見交換・アドバイスを頂いている。議事録を回覧し、日々のケアやサービスの向上に繋げている。	2ヶ月ごとに利用者・区長・民生委員・介護相談員・行政・事業所担当のメンバーで開催しているが、今年は新型コロナウイルス感染予防の為、4月・6月の2回を中止とした。現況・事業予定・報告・勉強会などの内容で、席上出た意見や提案をサービス向上に活かしている。家族には面会時に報告または郵送。職員には議事録を回覧(確認サイン必須)して共有している。家族は居住地が遠方であったり、仕事の都合で参加が難しいと思われるが、今後、会議内容によっては参加を呼び掛ける予定。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	担当者と随時連絡を取り、サービス状況の報告や相談に努めている。	担当課(社会福祉課・高齢福祉課・地域包括支援センター・社協)とは密に連絡を取って報告や相談を行い、良好な協力関係を築いている。介護相談員を受け入れている。地域密着型連絡協議会に参加し情報交換を行っている。現在は休止となっているが、7月から、ふれあい茶屋(オレンジカフェ)を再開する予定。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を実施し、身体拘束についての理解を深めている。事故報告書を活用し、拘束を行わずに事故を防ぐためのケア方法を考え実施している。	身体拘束は事故報告書を活用し、運営推進会議で話し合い、利用者の安心・安全に向けたケアの提供に取り組んでいる。家族の要請で一時的にベッド柵を付けたが、環境を整え、現在は外されている。不適切ケアの芽チェックリストを作り、職員に気づきの警鐘をならしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を実施し、日々のケアの中でお互いの言動について振り返りを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を実施し、知識の習得に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に本人や家族の不安や疑問を確認し、説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時には近況報告をしながら要望等確認している。	月1のカンファレンス内容の確認時、または面会時に近況報告を行い、要望や意見を聞いている。今は面会が出来ないので、電話や広報誌の発行で利用者の状況を伝えている。納涼祭・新年会と同時開催の家族会で意見を聞くようにしているが、新型コロナウイルス感染予防の観点から今年は開催を見合わせる。法人からユニホームが支給され、家族には導入の経緯を説明した。利用者には好評との事。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の関わりの中や面接時に得られた意見や提案はできる限り早めの対応に努めている。	利用開始の情報は事前に職員に報告している。外部評価に向けた自己評価は職員も携わって作成した。気づきはその都度管理者に伝え、検討・対応している。ミーティングや面接時に意見や提案を聞いており、夜間介助量が増えてきたので、ケア以外の業務を昼間に移行した。主に内部研修になるが、職員のレベルに合わせた研修受講でレベルアップに努めている。管理者とは何でも話せる良好な関係で、お互い、ストレスや不満が無い職場環境作りに努めており、仕事を楽しいと職員から聞いた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を活用している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	教育段階に合わせて、外部・内部研修への参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	土浦市地域密着型サービス連絡会に参加し情報交換や交流の機会を作っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス導入前には必ず直接本人にお会いし、施設生活への困りごとや不安の把握に努めている。できる限り入居前にはホームの雰囲気を感じてもらおうようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居問い合わせや施設見学、利用説明時に困りごとや不安、要望等確認しながら、施設でできることを説明している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他事業所、他職種と連携を図り、本人にとってより良い環境が提供できるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の自発性を大切に、それぞれの得意分野などから役割が見いだせるよう、共に支え合える関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族のこれまでの関係継続や本人の想いを代弁・橋渡しすることにより、家族との絆を大切に、協力関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力を得ながら、馴染みの人の訪問や手紙のやり取り等、希望時には交流が図れるよう支援している。	手紙・電話(携帯持参の利用者がいる)で大切にしてきた馴染みの人との関係継続に努めている。家族と外食・買い物・美容院に出かける利用者がいる。ケアセンターに親しい友人が来ている時には、交流の場を設けている。利用者同士の馴染みの関係が深くなって来ている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	コミュニケーションが円滑に図れるよう職員が会話の橋渡しをしたり、利用者同士の関わり合いができてい時はさりげなく見守る等状況に応じて支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了に向けた支援の段階から他事業所、他職種と連携を図り、いつでも相談・支援を継続できるようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりから得られた生活への要望・想いはケア記録やカンファレンス用紙を通して職員間で共有し、実現できるよう努めている。また、表情や行動からもニーズ把握に努めている。	日々の会話の中から利用者の思いや希望を聞き、ケース記録・カンファ用紙に記入し全職員で共有している。趣味(民謡・カラオケ)や公民館に出かけたり、家事等からやりがいと意欲向上に努めている。困難な場合は選択できるような問いかけに工夫したり、表情・様子から推測し利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や面会時に家族から確認したり、日々の関わりの中から把握し、できる限り馴染みの暮らしが継続できるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活の様子、言動の背景や要因を探り記録することで職員間で共有し、ケアの評価・継続に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月モニタリングを行い、更新は6か月ごとに行っている。日々の関わりから得られた本人のニーズや家族の意向を確認しながらプランニング、修正を行っている。	利用者・家族から要望を聞き、カンファレンスで課題とケースのあり方について話し合ってプランを作成している。作成後は家族に説明し同意を得ている。ケース記録には利用者の言葉・様子・表情・仕草・行動・背景・要因が詳しく記録されており、担当者が作成している毎月のモニタリングで6ヶ月ごとの評価・再プランに繋げている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に気づきや本人の表情・様子等を残し、評価・再プランにつなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況や力量、その時々ニーズに合わせ、ホームとしてできないことをすり合わせながら、できる限り柔軟な支援ができるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	職員付き添いのもと、ショッピングセンターで好きな物を選び買い物されたり、図書館で好きな本を借りてきて楽しまれている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の協力を得ながらかかりつけ医への受診ができるように支援している。受診の際には、本人の最近の様子や健康状態がわかるよう文章を作成している。	かかりつけ医受診は情報提供書を持参して家族が付き添い、報告を受け、記録に残している。協力医療機関から月2回の往診(結果を受診記録に記入)と毎週の訪看(申し込みを含め、全員の記録を一枚の用紙に記入)が入り、健康管理に努めている。母体医療機関受診時にはファックスで事前に状態を伝え、スムーズに受診が出来るようになっている。受診記録は家族に連絡した内容ややり取りも残してある。希望者は訪問歯科の受診を受けている。協力医療機関とは24時間連携可能である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携体制をとっており、連携看護師の定期的な訪問時に相談しアドバイスを受けて健康維持が図れるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医の入院治療計画書に基づきながら、退院後も生活継続ができるように経過を追う中で病院関係者との情報交換や相談に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りについての方針を説明しているが、状態の変化に合わせて丁寧な説明、本人・家族の意向を確認し医師や看護師との連携を図っている。	契約時に看取りの方針を説明し、同意書(急変時の対応確認も含め)を取り交わしている。状態の変化に合わせて医師・訪看から説明をもらい、今後の方針を決め、利用者・家族の思いに添ったターミナル支援を実施している。急変時には24時間医師・訪看と連携がとれ、その都度指示を仰いでいる。職員は不安もあつたが、法人の勉強会参加・死亡時のマニュアルも出来ているので、徐々に解消されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故が発生した時は、事故報告書やミニカンファレンスにて適切な対応ができるよう確認している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署と連携を図り、定期的に訓練を行っている。	消防署指導・自主訓練を年2回実施(初期消火・夜間想定・緊急通報システム・避難経路確認・利用者行動把握等)し、利用者が安全に避難できる方法を身に付けている。隣接施設との合同訓練で協力依頼内容も構築している。緊急持ち出し用品・備蓄品(賞味期限確認)は整備している。	隣接施設との協力関係は出来ているが、職員の夜間災害時の不安を考えると、運営推進会議で民生委員にも協力依頼をし、一人でも多くの協力者を得るのが望ましい。一つの策として24時間体制の、近くの企業に声掛け依頼をしてみても提案する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重した対応を心掛けていると共に、接遇の勉強会を行い言葉かけや対応の振り返りを行っている。	接遇の勉強会を実施し、言葉かけや対応を振り返り、失礼のないように心がけている。書類関係の保管・情報開示に関する同意書を取り交わし、個人情報保護(肖像権・面会簿を含め)に努めている。利用者に対する言葉かけは丁寧に落ち着いたトーンで行われていた。異性の入浴介助を拒否する利用者には同性介助で対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	適切な言葉で想いを表出することが難しい方へは自己決定しやすいよう選択肢をいくつか提示し、自己選択しやすい場面設定を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの想いを大切に、本人と相談しながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の服を選んで頂いたり、好みのヘアスタイルや身だしなみができるよう環境を整えている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けを一緒に行っている。誕生日や行事の時は食べたい物や好きな物をメニューにしている。	食材は外注だが、職員と一緒に利用者の出来る範囲で下準備・味付け・下膳・食器拭き等を行っている。誕生日・イベント時にはリクエスト食(エビ・寿司・鰻等)を提供している。イベント食・おやつは材料は利用者で買い出しに行っている。利用者の状態に応じた形態(カットの大きさ・ムース食)で提供している。塩分制限はみそ汁の量で対応している。食事介助の職員以外は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、別のテーブルで食事をとっていたが、会話は弾んでいた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量にムラがある方や体調変化がみられる時はチェック表を活用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後習慣として口腔ケアを行えている。義歯洗浄ができるよう支援している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、できる限りトイレで排泄できるよう支援している。	自立の利用者は見守り(パットやパンツは確認)支援を実施している。利用者一人一人の排泄パターンを把握し、さりげない声掛けでトイレに誘導し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。利用開始時、おむつ対応だった方で布パンに改善した方がいる。便秘予防として乳製品・オリゴ糖摂取・軽体操・散歩等を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品、オリゴ糖を摂取したり、軽体操、散歩等楽しく体を動かせる工夫をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望や習慣、タイミングに合わせて入浴支援している。	一人一人の希望に合わせた(2~3日おき)入浴支援となっているが、汚染があった場合は清潔保持に努めている。季節のしょうぶ湯・ゆず湯を提供し回想法に配慮している。一対一の対応なので、普段聞け無いような話が聞ける時もあり、内容は全職員で共有している。皮膚感染予防対策は実施している。着替えは利用者と相談しながら準備している。まき爪はひどくなる前に職員が手入れをする。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの入眠前の習慣やその時々活動と休息のバランスをみながら、安眠できるよう室温や音等工夫している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服変更時は薬の説明書を確認し、症状や心身の変化の経過観察を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事や工作等個々の力を活かした役割が行えるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム周辺を散歩したり、ショッピングセンターに買い物に行っている。ドライブや外食も利用者の希望を聞きながら計画している。	天気・体調に応じてホーム周辺を散歩したり、ショッピングセンターに買い物や公民館まつり等に行っているが、新型コロナウイルス感染予防の為、今は外出する機会は少ない。全体で春・秋の遠足(フラワーパーク・フルーツ狩り)・外食・初詣に出かけている。桜並木が事業所の前にあり、テーブルを出してお茶を楽しみ、外気を肌で受け、季節の移ろいを感じている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小遣いは家族の理解のもと所持し、買い物時は自分で会計する等、個々の力に応じて支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホームの電話や携帯電話、手紙等いつでも家族や大切な人と連絡が取れるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活に必要な情報、日時や場所等をわかりやすく、家庭的な雰囲気を損なわないように配慮している。季節感を採り入れ、心が和むような居心地の良い環境作りに取り組んでいる。	見当識に配慮した見やすい時計やカレンダー、季節の飾り物(ひまわり)を飾る等の工夫があった。ソファを設置し自分の好みの場所でのんびり過ごしている姿があった。トイレ・浴室の表示がわかりやすい。スライドやアルバムはいつでも見ることが出来、家族と利用者の話題提供になっている。防犯対策として、庭・玄関・駐車場は防犯カメラの設置している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル、ソファ等配置にて共有空間や個人で過ごせる場所を作っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた馴染みの家具や小物を持参して頂き、安心した居室環境となるようにしている。	居室入り口に視線の高さに合わせて名前を掲示し、混乱防止に努めている。テーブル・椅子・タンス・テレビ・ドレッサー・衣装ケース等を安全面と動線に配慮して設置している。お雛様・ラジカセ・時計・家族の写真・ぬりえ・ぬいぐるみ・フェルトで作ったペットの顔・草花等を目につきやすい場所に飾り、利用者にとって安心できる居室となっている。掃除は主に職員が実施し、清潔保持に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、フロア内には手すりが設置されている。居室の名前を目線の高さに掲示したり、居室内の配置も考えている。		

(別紙4(2))

事業所名: グループホームおらが里

目標達成計画

作成日: 2020年7月2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	隣接施設との協力体制はできているが、近隣に住宅がなく夜間災害時の不安を考えると一人でも多くの協力者を得ることが望ましい	夜間災害時の不安解消に努める	運営推進会議にて協議し、必要に応じて近隣の企業に協力を依頼する	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。